

見て下さい、このうれしい顔。子供たちは水遊びが大好きなんです。待ちに待ったプールが、礼内北小学校にできました。7月18日にはプール開きが行われ、子供たちを代表して生徒会長の吉田祐子さんが「プールができて本当にうれしい。つくってくれたおじさんたち、ありがとう」とお礼のことば。さっそくみんなでプールに入り、うれしい顔でいっぱいになりました。

プールは9月10日ごろまで。おとなが利用してもいいんですよ。

夏×子供×プール=おお喜び



まぐわ 広報

No.463
1990

8

7月1日現在 男10,593人

女11,762人 計21,769人

(前月比+23人) 6,850世帯



ねむ あなたの家で眠ってる本



新しくできる 図書館に
ゆずって
ほしいなあ

いよいよ幕別町にも図書館ができます。オープンは来年の4月で、今は基礎工事のまっさい中。どんな図書館になるのか、みなさんも期待していると思います。「せっかく来たのに読みたい本がなかった。」そんなことにならないように少しでも多くの本をそろえたいのですが…

みなさんの家に読まなくなった本はありませんか。よければ新しくできる図書館にゆずっていただけませんか。みなさんのご協力で、いい図書館にしたいんですけど。

6月11日に行われた安全祈願祭でスタートした図書館の建設工事。延べ面積は1375㎡で今は基礎工事のまっさい中です。9月ごろには形もはっきりしてきます。後ろに見えるのが新田の森



図書館に一番大切なもの
あたり前ですが、それは本です

図書館の建設工事が来年四月一日のオープンをめざして進められています。

図書館の本の数は、将来的には十万八千冊（いつでも取り出して読むことのできる本が五万八千冊、書庫にしまっておく本が五万冊）です。でも十万八千冊のすべてがそろうのは何年も先のことで、オープンの際にそろう数は三万五千

冊の予定です。この内訳は、町民会館の図書室にある本一万冊と、新しく買う二万五千冊となっています。

あたり前ですが、図書館に一番大切なものは本です。いろんな種類の本や新しい本をたくさんそろえて、町民のみなさんが必要とする多くの知識や情報を提供するのが、図書館の使命です。



今年の4月から今までに町民のみなさんから約800冊の本をいただきました。その本を整理しているのが図書館司書として4月1日付けで町職員に採用になった太刀野亜也乃さん、21歳。趣味はやっぱり読書で、子供好き。今は町民会館の図書室にいます。図書館ができれば、子供たちといっしょに本を楽しみたいと言っています

本棚か押し入れで「眠ってる」本はありませんか
図書館にゆずって下さい

本屋さんで本を買って読む。好きな本、繰り返し読みたい本、一回読めばもういいやという本に分かれてきて、だんだん本がたまります。読まなくなった本はどこにありますか。本棚のはじっこか、もしかしたら押し入れの中で「眠っている」のでしょうか。

ここで、みなさんにお願いがありません。あなたの家で「眠っている本」をもう一度起こして下さい。そして新しくできる図書館にゆずってほしいのです。眠っていた本がまた読まれることになれば本も喜ぶし、その本を読むことのできる多くの人も喜んでくれるでしょう。これは一挙両得です。

今年の春から今までに、町民のみなさんから約八百冊の本をいただきました。この本を司書が、図書室にある本とない本に分け、本の傷具合も調べています。傷みの多い本はオープンまでに間に合わ

「本をあげるよ」という方

教育委員会に

電話をして下さい。

職員がお宅にうかがいます。

ないかもしれませんが、多くの人に利用される本として大事に保存していくつもりです。

オープンの時にそろっている本数は三万五千冊、けっして多い数ではありません。いま一度、みなさんの家の本棚や押し入れを見て「眠っている本」を新しくできる図書館にゆずって下さい。教育委員会社会教育課では、みなさんからの電話をお待ちしています。



図書館のイメージイラスト。新田の森との調和を考えた平屋建てで、外観は薄い茶色のレンガタイル張りです。



☆
54-2006へ

幕別町は町民みんなのもの。この町に住んでいるみなさんが日ごろどんなことを考え、どんな町になればいいと思っているのか…。広報6月号で全世帯を対象にして町民アンケートを行いました。戻ってきたハガキの数は275通。この結果を参考にして第3期総合計画の原案作りをしていきます。

周りの環境や生活の満足度 (複数回答・%)

	不満		満足		無回答	
	やや不満	ふつ	満足	どちらかといえば満足		
日あたり	9	9	18	14	48	2
緑の豊かさ	7	7	36	20	28	2
静かさ (騒音や振動)	12	12	35	16	24	2
空気のきれいさ (ほこりや悪臭)	11	12	36	16	22	3
防犯や風紀	7	12	45	19	14	3
交通安全	16	16	44	15	6	3
道路の整備(道路 網や舗装・除雪)	24	21	31	16	6	2
公的輸送 (バスや鉄道)	11	18	43	15	11	2
水道	16	10	28	16	27	3
下水道	32	12	26	9	16	5
水はけ	19	18	35	13	13	2
ゴミの収集	13	16	30	22	17	2
子供の遊び場	15	18	37	16	9	5
地域の集会施設	8	13	39	20	18	2
買物	18	18	45	9	7	3
医療機関	20	23	40	10	4	3
文化・ スポーツ施設	18	21	38	14	6	3
まちなみなどの 景観	13	29	43	7	3	5
人材の発掘や 育成	18	29	44	2	1	6
町全体の活気や にぎやかさ	31	28	33	4	1	4

【解説】数多くのみなさんが『日あたりの良さ』と『緑の豊かさ』に満足しています。その一方で不満、やや不満を合わせて最も高い率の約六〇割近くを占めたのが『町全体の活気やにぎやかさ』で、これはグループインタビューで出された総体的な町の印象が、このアンケートによって裏付けられた形となりました。

「いつも同じ顔ぶれ」など、人材の発掘や育成への努力が不足しているとの指摘がたくさんありました。生活環境の中で特に不満度が高かったのは道路、下水道、医療機関で、それぞれ約四四割となっています。町道の総延長は十年前で六百四十七キロ(五百十八路線)、舗装率は一〇割でした。これが元年度末には六百六十キロ(六百八十路線)三四割の舗装率で、やっと三分の一を超えたところですが、重点施策として整備を進めています。現在、整備を進めている札内地区での不満度が高くなりました。医療機関については、多くの方がご意見の欄にも総合病

院の設置を望んでいます。公共施設では、文化・スポーツ施設に対する不満が多く、約四〇割を占め、ご意見の欄にも「文化施設が不足している」という意見が多く寄せられました。文化は人それぞれの価値感が異なり、多種多様な広がり方をします。今回のアンケートでは文化活動のくわしい調査はしませんでしたので、文化施設を整備する時には、細かな調査をあらためてする必要があります。また地域の集会施設では満足派が不満派を大きく上回りました。第一期総合計画が作られてから約二十年、近隣センターなどを積極的に配置してきた結果があらわれたものと思われま

みなさんから届いた ご意見

ハガキの総数の約六割にご意見が書かれていました。みなさんのご意見を参考にしながら、総合計画の原案作りを進めていきます。

● 全体的調和のとれた町づくりをして欲しい。幕別町は音更などに比べてあまりにも無力すぎる、もっと努力するべきです。パークゴルフ場もいいが、子供の遊び場を削ってまで造る必要があるのか？21世紀は子供たちのものです。20代女

● 休日でも行ってみようと思つた場所がないと思います。だから町外へ出かける機会が多くなります。他町村から来た人を連れて行けるような所があればいいと思います。お祭りとかにしても活気がなくて寂しいです。20代女

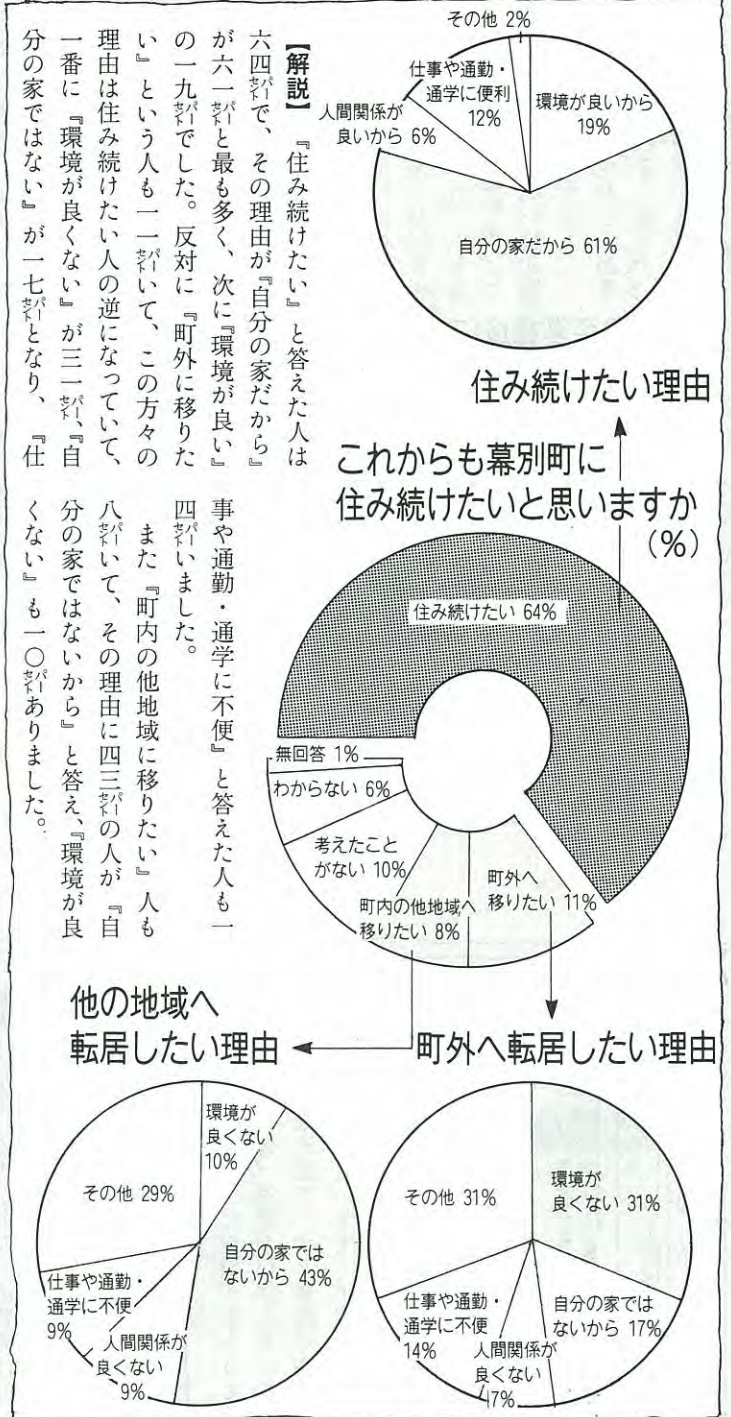
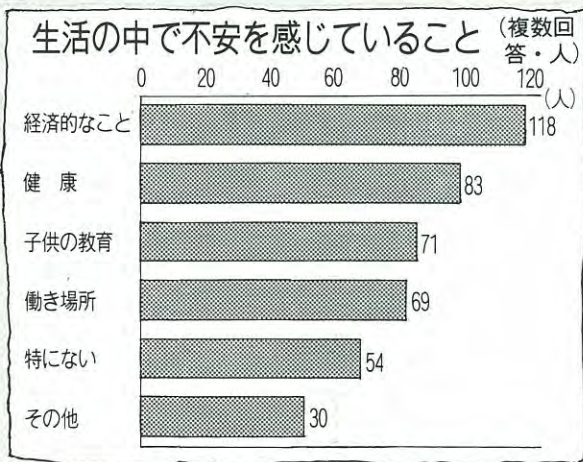
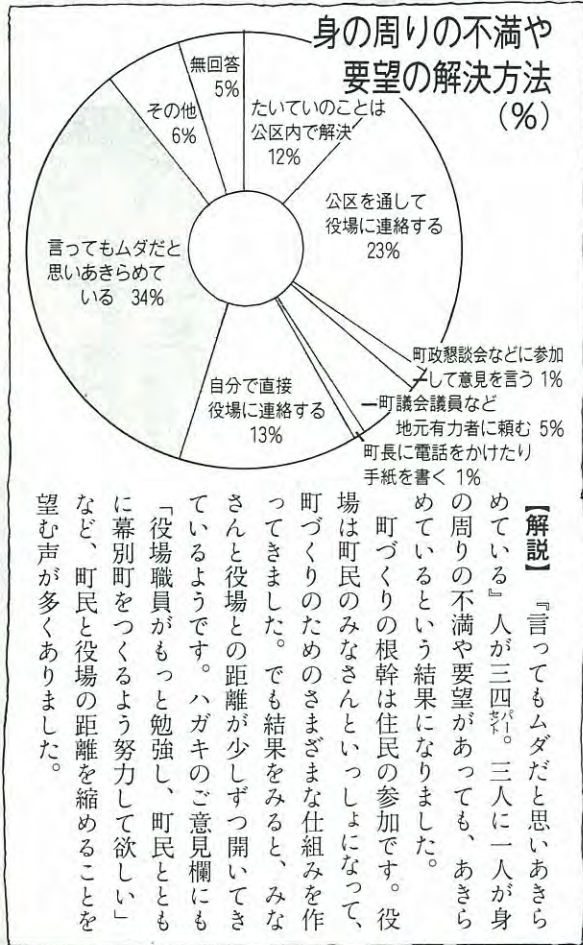
● 中学生を対象に英語等の語学力の育成のため、夏、冬休みを利用して長期ホームステイ事業の展開、あるいは外国人受け入れ事業の展開。30代男

● 観光より自然のある農業中心に。それといつまでも小さな町ではなく、市の近くの町の感覚が欲しい。30代女

● 世界の農業情勢が目まぐるしく変わる現在、町づくりを考える余裕などない。町づくりは町づくりを

町民アンケートの結果が出ました。

みなさんありがとうございます



● 燃えるゴミの収集日が少ない。街灯の数も少ない。夜の一人歩き、あぶないような気がする。幕別町民にはなつたが、未だになじめない、愛着が持てない。30代女

● 形式にこだわらず、気軽に参加できる文化活動を推進する。また行事等の連絡も広報だけでなく、楽しいチラシを作って配付するなど、変化に富んだやり方などを考えてみてはどうですか。慣習をあまり重んじてばかりいないで、例えば「トマト銀行」のように30代女

● 札幌市の河川敷を緑と花と環境豊かにし、町民の憩いの場にして欲しい。文化ホールも建設して欲しい。幕別町と札幌の中間がありすぎて、近隣市町村と協調する町づくりが遠いものを感じるが、やはり

● 総合大学があつて、公開講座など年をとつても勉強ができれば良いと思います。本町との行き来がもっと便利だと、いろいろな施設も利用しやすいと思います。札幌の良いところは温水プールぐらいだったのに、それもなくなりそう、残念です。30代女

● 札幌市から幕別町までの38号線沿いの開拓（企業もしくは観光産業）同時に大型スーパーを設置して、それを核に都市化をさせていく。30代男

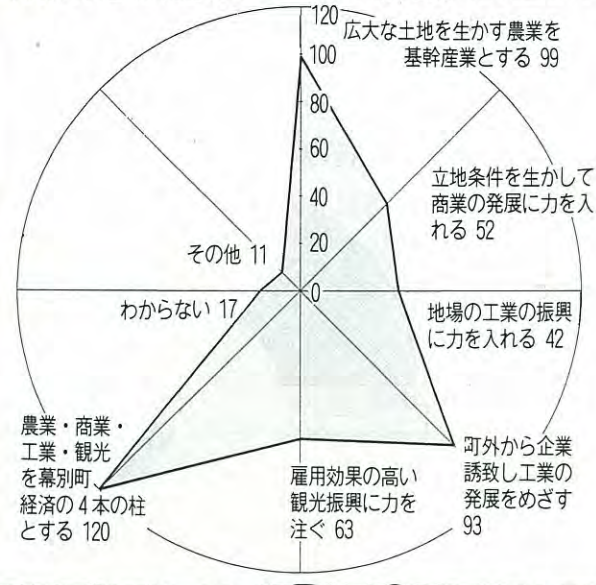
● 仕事とする者に任せたい。産業の振興より先に、町づくりを推進すべきではない。30代男

● 札幌市から幕別町までの38号線沿いの開拓（企業もしくは観光産業）同時に大型スーパーを設置して、それを核に都市化をさせていく。30代男

年齢 ●20歳未満2人・1% ●20歳代30人・10% ●30歳代56人・20% ●40歳代59人・22% ●50歳代49人・18% ●60歳以上78人・28%
 職業 ●サラリーマン75人・27% ●主婦69人・24% ●無職65人・24% ●農林業経営15人・5% ●商業経営9人・3% ●その他事業経営7人・3% ●その他35人・13%
 居住年数 ●5年未満50人・18% ●5～9年36人・13% ●10～14年38人・14% ●15～24年58人・21% ●25年以上89人・32% ●無回答4人・2%
 住所 ●幕別市街79人・29% ●札内市街168人・61% ●幕別方面農村部3人・1% ●札内方面農村部11人・4% ●糠内・駒島9人・3% ●不明5人・2%

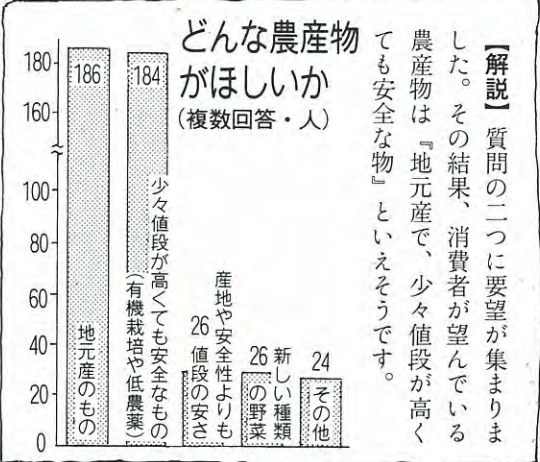
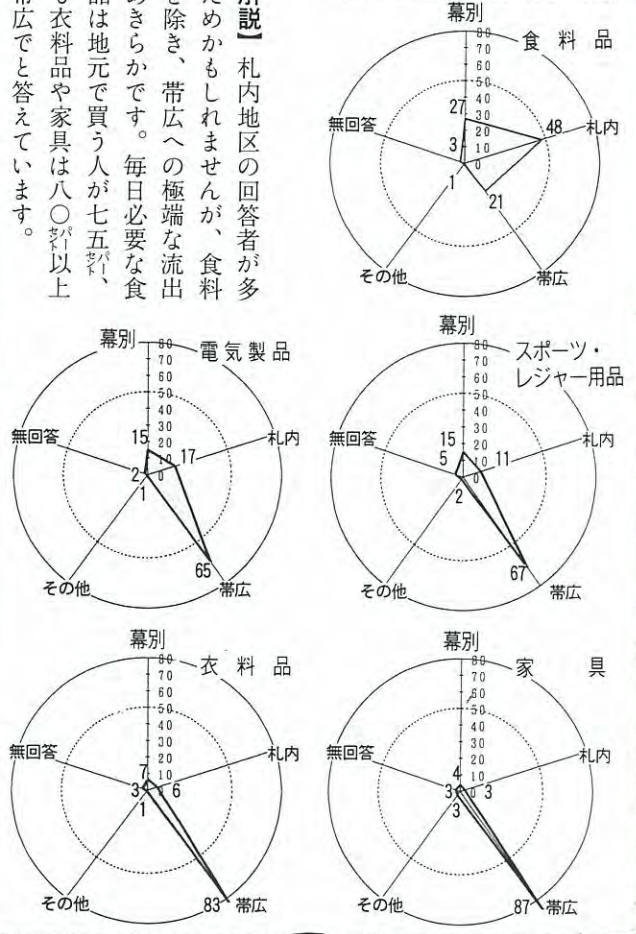
【解説】 『農業・商業・工業・観光を経済の四本の柱とする』と答えた人が百二十人と最も多く、全体の二四割を占めました。また個別の産業振興を選んだ人の総数は三百四十九人で、このうち『広大な土地を生かす農業を基幹産業とする』と『町外から企業誘致し工業の発展をめざす』が、それぞれ九十人を超え、約二〇パーセントを占めました。続いて『雇用効果の高い観光振興に力を注ぐ』が六十三人、一三割、『立地条件を生かして商業の発展に力を入れる』が五十二人、一〇割となっています。

将来の産業構成についての考え方(複数回答・人)



【解説】 札内地区の回答者が多いためかもしれませんが、食料品を除き、帯広への極端な流出があまりありません。毎日必要な食料品は地元で買う人が七五割、でも衣料品や家具は八〇割以上が帯広でと答えています。

商品の主な購入先(%)



【解説】 質問の二つに要望が集まりました。その結果、消費者が望んでいる農産物は『地元産で、少々値段が高くても安全な物』といえそうです。

商店街に対する評価(%)

価格	良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い	無回答
品ぞろえ	3	12	45	22	14	4
品質	2	5	29	34	25	5
接客態度やアフターサービス	1	6	53	24	11	5
店舗や陳列	1	9	43	22	19	6
駐車場	7	7	52	26	8	6
その他	13	16	39	13	12	7

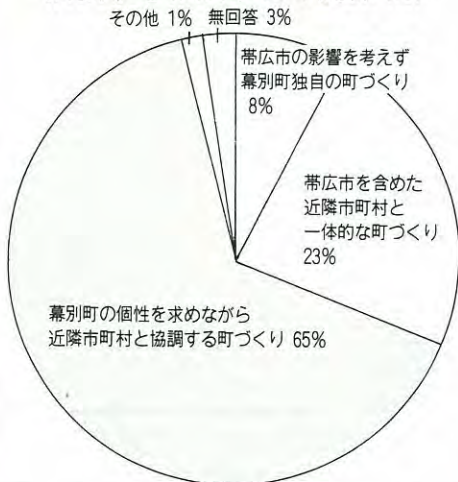
●前略、町民アンケートの意見を書かせていただきます。交通の便利だけではなく、人の住みよい環境も大切ではないでしょうか。ここは裏が国道で交差点も近いので、大型車が通ると夜中でもクラクションや騒音、振動、それに周りの壁からの反響が二倍になって、はね返ってきて、夜中、何回となく目がさめる状態です。少しでも静かになるように考えて欲しいものです。40代男

●他町村(音更、芽室)の方が人口もそう変わらないのに、街に入った印象がとても明るく、それらに比べると幕別町は非常に暗いイメージがあり、土、日の夜などはまるでゴーストタウンのようだ。他町村に比べ行政の立ち遅れを痛切に感じる。これからまず一つと幕別町に住み続けるが、のどかでないのかしれないが、なんと。40代男

●一億円の使い道は一体どうなったのでしょうか。道路に花を植える計画があるそうですが、もつとほかに有意義な使い道を考えてみてはいかがですか。40代女

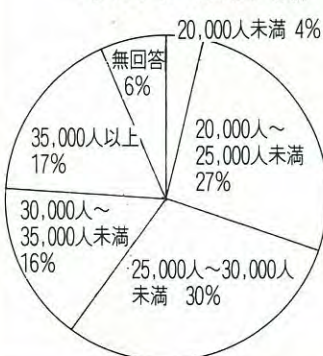
●悲しいくらいに文化のない町だと思えます。帯広市が近いことも理由の一つかもしれませんが、近郊の音更、芽室はそれなりの特徴ある町づくりをしているように

隣接する帯広市との関係 (%)



【解説】『幕別町の個性を求めながら近隣市町村と協調する町づくり』を望む人が最も多く、六五割でした。また『帯広市を含めた近隣市町村と一体的な町づくり』が二三割で、この二つを合わせ全体の約九〇割が、町づくりは隣接する市町村と無縁ではないと考えています。
なお帯広市以外で強く意識されている町村は音更町で、ハガキの意見の欄にも、音更町と比較して意見を書いている人が十九人いました。

望ましいと考える町の人口規模 (%)

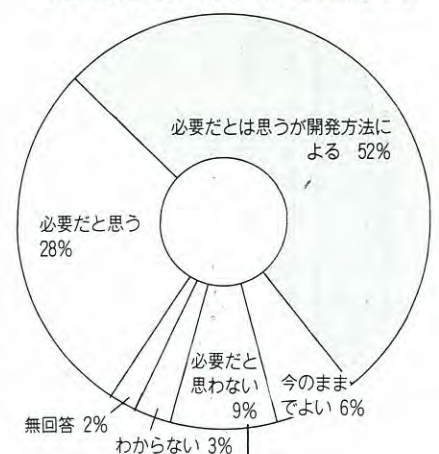


【解説】『二万五千人から三万人未満』が三〇割で、過疎にはならず、かといって大幅な人口増も望んでいないようです。

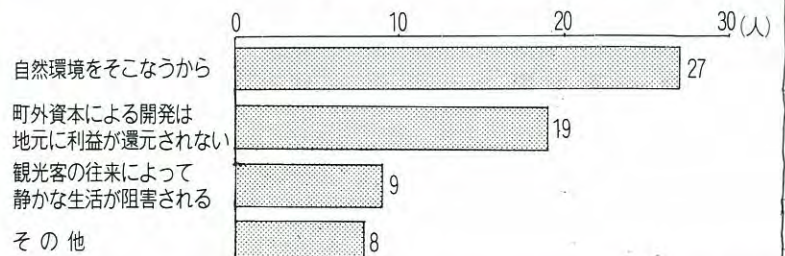
企業誘致に対する考え方 (%)



観光振興に対する考え方 (%)



観光振興不要の理由 (複数回答・人)



【解説】企業誘致を『地域開発のために積極的にすべきだ』が二一割、観光振興を『必要だと思おう』は二八割でした。その逆の『積極的な企業誘致活動はしなくてよい』は一八割、『観光振興を必要だと思わない』は九割で、その理由として最も多かったのが『自然環境をそこなう』の二十七人、続いて『町外資本による開発は地元利益が還元されない』の十九人でした。

『観光振興を必要だと思いが開発方法による』と答えた人が五二割でした。どちらにも共通しているように町民が願っているのは、企業誘致も観光振興も必要ではあるが、幕別町の自然を大切にしながら進めてほしいということです。

『観光振興を必要だと思いが開発方法による』と答えた人が五二割でした。どちらにも共通しているように町民が願っているのは、企業誘致も観光振興も必要ではあるが、幕別町の自然を大切にしながら進めてほしいということです。

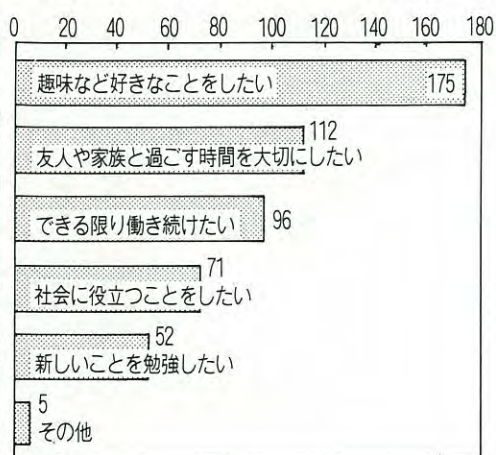
● 考えるのです。40代女
幕別町、今まで見て、街が二つある考えて物事を進めているような気がする。例えば体育館、駐車場の大きなものを一つ造っていいば、大きい大会が開けるものを二つにしている。街は一つだけという基本的な考えに立つて欲しい。高齢化社会に向けては、環境、施設(公営住宅、ホーム)を考えて、緑、空気、広い、安い土地条件の南幕別を考えてはどうか、車社会なのだから50代男

● 商業にたずさわり、主婦であるという立場から、正直に本音を言つと、自分の所にお客様は来て欲しい。だが何か欲しい時(特に衣料品)など良い物がなないため、帯広に出てしまつということが三回に一回くらいはあります(立場上、三分の二は町内で買っているつもりです)。もし町内に大きなデパートやスーパーがあれば、大いに利用するでしょうね。自分の店がそれによって影響を受けることのないよう、きちつとした話し合いと対策があれば大丈夫だと思えます(それで成功している町もあると聞いています) 40代女

● 人口が町づくりの基本要件。札内地区が幕別地区に合わせて歩むのではなく、その逆であつてもいい時期。役場、学校(教育)、商工観光の中枢を札内に移すくらい思い切つた施策を打ち出さない限り、

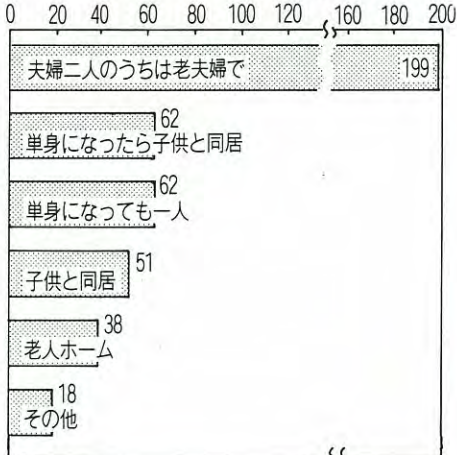
第3期総合計画 町民アンケートの結果

老後のライフスタイル (複数回答・人)

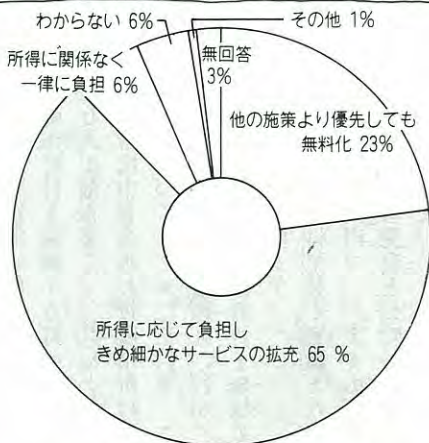
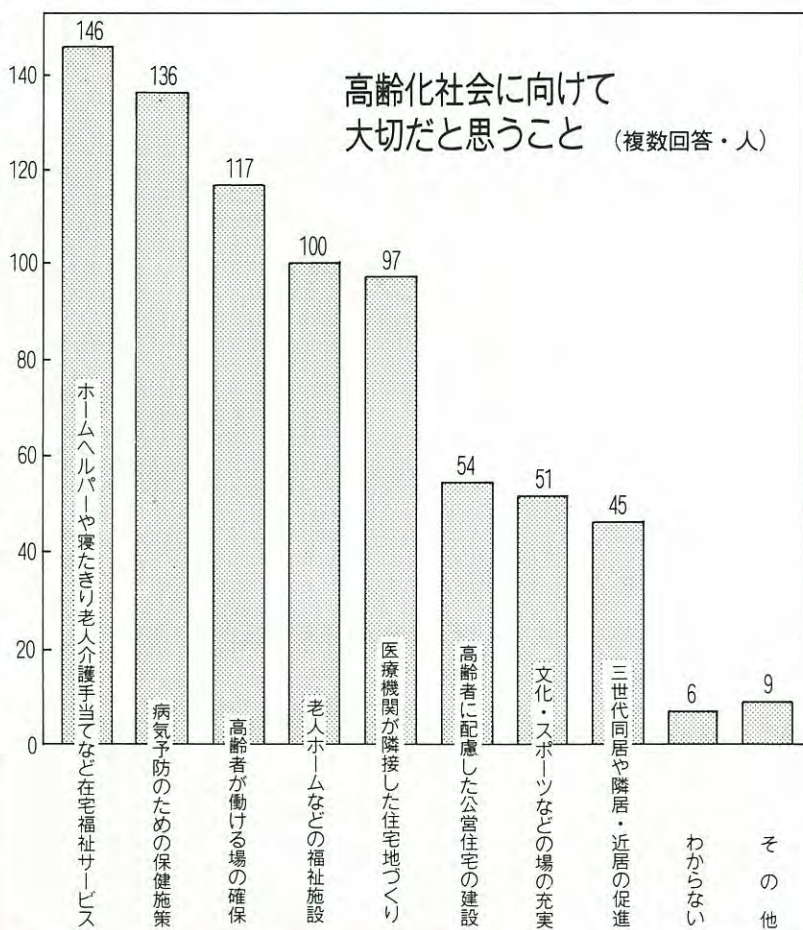


【解説】十年前、幕別町の六十五歳以上の人が総人口に占める割合は九割でした。今年四月の時点では一割になり、第三期総合計画が終わる西暦二千年には二割を超えるとも言われています。仕事の第一線を退いてからの生活が、ますます大事になってくるわけで、『夫婦二人のうちは老夫婦で』生活することを望み、『趣味など好きなことをしたい』という、アンケート結果になりました。

老後の住まい方 (複数回答・人)



高齢化社会に向けて 大切だと思うこと (複数回答・人)



福祉サービスの費用負担 (%)

【解説】高齢化社会に向けて大切だと思うことに、百四十六人が『在宅福祉サービス』と答え、続いて『病気予防のための保健施策』『働ける場の確保』の順になりました。老後の住まい方の中で、夫婦二人のうちは老夫婦で生活することを望んだ方が圧倒的に多かったことを考えると、老夫婦が生活していくにはこれらの施策が必要だということだと思われれます。

福祉サービスの費用負担も『所得に応じて負担し、きめ細かなサービスの拡充』が六五割を占めました。

- (前ページ下段から続く)
- 札内は帯広の一部としてのみ機能してしまつことになる。50代男
 - 他市町村は積極的な企業誘致で、十勝農業国とは別な視点で町並みが造られていつているが、本町は古来の風潮を継続し、将来の町のあるがままの姿を想定すらないように思われる。計画がズサンである。50代男
 - もう少し大きな町になって病院や高等学校、デパート、総合大学などができれば良いと思います。これからも幕別町に住み続けたいと思いますので。60以上女
 - パークゴルフ発祥の地「まくべつ」です。他市町村でもどんどん取り入れられていますが、「発祥」を大事にしてもつとPRしては。例、国道や列車の窓から見える所に大きな看板を。親睦旅行のスケジュールにパークゴルフを組み込む。そしてお泊まりは「まくべつ」へなど。60以上女
 - プームにのつた過度の開発のため、将来自滅の道をたどることのないよう、正しく豊かな発展を祈ります。60以上女
- ☆このほかに多かつた意見：
- ① 町政に対する不満 14件
 - ② 近隣センターなどの集会施設の建築改築要望 13件
 - ③ 上下水道の料金や整備についての不満 11件
 - ④ 総合病院(町立も含む)の設置 8件
 - ⑤ 大型スーパーの誘致 6件
 - ⑥ 職員に対する不満 6件

お宝クイズ



軍岡 富谷幸子 10歳



旭町 尾崎直美 15歳



あかしや町 岡本隆志 8歳



中里 岩井恵子 12歳

このあいだ「外国の子どもたちの飢餓のために寄付をお願いします」と言って若い女の子が写真と身分証明みたいな物を提



広報クイズ—(41)

500円の図書券が当たる

今年の夏は暑くて長いなあ。しっかりごはんを食べて、カゼをひかないようにするんだよ。

- ①新しくプールができた小学校は
A 糠内小 B 札内南小 C 札内北小
- ②図書館でほしいという物は
A 自動車 B テレビ C 本
- ③これから幕別町に住み続けたいと答えた人は何パーセントだった
A 62% B 63% C 64%
- ④サマーカーニバルの早飲み早食い競争に出た物は
A スイカ B レモン C ビール
- ⑤納税貯蓄組合連合会に加盟している組合の数は
A 130組合 B 129組合 C 128組合

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えて下さい。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃く書いて下さいね。

★あて先=☎089-06

幕別町本町130 役場・広報広聴

★締め切り=毎月15日

★前回の正解は、①-B、②-C、③-A、④-A、⑤-Bでした。応募35通で全問正解が33通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

さいとうけいこ(8・あかしや町) 江端友香里(10・暁町) 岡本拓也(10・あかしや町) 武田祥子(12・緑町) 遠藤裕美(11・旭町)



札内桜町132
小泉江里子(10歳)
桜町 小泉江里子 10歳

でも本人の意志で判断するしかない



あかしや町 平井尚美 37歳

ほんの一言
☺...子供でも読める読み物がほしい
いな↓中里・岩井恵子(12)

く、なんか変だなと思つたら断るのも善意です。また身分証明を持っているのなら、その団体の本部に直接電話をかけてみてはどうでしょうか。そうでもないかぎり、本当に自分のお金が世の中に役立つのかどうかは、わかりません。納得できないものはないということ、いいのではないのでしょうか。

こちら編集室です

オーイみんな夏休み、何をしているかな。朝、早起きしてラジオ体操出てるかな。ねむたいだろうけどガンバレ。それと朝のあいさつは大きな声で元気になよう(堂前) エネルギーのお話第二弾。今年はお天道様の気げんが特にいいように、暑い日が続いています。太陽エネルギーも最近充電のしすぎみたいで、ちよっとバテ気味だ(あ)森

祝幕別町緊急通報システム開通記念式

高齢者地域ケアモデル推進事業



ひとり暮らしのお年寄りに24時間の安心を
緊急通報システムが開通

緊急通報システムの開通記念式が六月二十五日、林町長や民生委員、消防署員などの関係者約六十人が出席して、幕別消防署で行われました。

このシステムは、お年寄りや障害者が急病や事故などでいざという時に、通報用の安心ペンダントや電話の非常ボタンを押すだけで、自動的に消防署に通報ができるも



のです。消防署では登録された発信者のデータがコンピューター画面に表示される一方、必要に応じて救急車が出動し、近くにいる協力員が駆けつける仕組みになっています。

開通記念式では利用者を代表して、あかしや町の斉藤志づるさんが「高血圧などの病気があり不安な毎日でしたが、これからは安心

です。ありがとうございます」とお礼の言葉（写真上）

続いて通信室に移り、林町長がコンピューターのスイッチを入れ、緊急通報システムが稼働。さっそく旭町の檜山チルエさんに「お元気ですか。このシステムがつかましたので、これからは安心して下さい」と通話をしました。

緊急通報システムは、道の高齢者地域ケア・モデル事業の一環で行うもので、対象者は今年は三十人。平成四年までに三十人ずつ増やして九十世帯に設置する計画です。

このノコどうやって使うの

幕別地域子供会のリーダー研修会が6月25日と26日の両日、新和少年自然の家で開かれ、子供たちはバードテーブル（鳥のエサ台）作りに挑戦。ノコの使い方を知らない子もいましたが、なんとかかんとか、全員が思い思いのバードテーブルを作ることができました。



さくらんぼ狩りで交流

若い女性との出会いの場をつくらうと、町青年交流実行委員会の主催で一日、バスツアーが行われました。この日は男女各二十人が参加、芦別市まで行ってさくらんぼ狩りをし、ゲームなどで交流を深めました。



お父さんうまくいかないね

幕別わかば幼稚園で一日、運動会が開かれ、子供たちはお父さんやお母さんに練習の成果を一生懸命披露しました。遊戯やかっここのほかにお父さんやお母さんとの競技もありましたが、なかなかうまくいかないみたいでしたね。



札内寮の増築地鎮祭

特養札内寮の増築工事の地鎮祭が十一日現地で行われ、角田理事長や林町長など二十人が出席して、工事中の安全を祈りました。この増築は定員を九十人から百二十人にするものと、町が実施するデイサービス事業（在宅老人の入浴や機能回復訓練など）に対応するため、来年二月の開設計画です。



なかなか早く飲めないよ

サマーカーニバル in さつないが21日、中央町の町営駐車場で開かれ、約500人が樽生ビールを楽しみました。今年の早飲み早食い競争はコーラ、バナナ2本、カキ氷、カップヌードル、ビールで行われ、出場者のしかめっ面に会場から大きな笑い声が上がりました。



北海学園大学第28回地方公演



北海学園大がジャズ演奏
北海学園大学文化協議会第二十八回定期公演が五日、町民会館で開かれました。フリーフォームレズジャズオーケストラ、フォーカスジャズオーケストラ、フォーク研究会などから総勢六十人が出演し、エール交換やスウィングジャズなどを披露しました。

イモの花見と料理を堪能

「ジャガイモの花見」ポテトフワーフェスティバルが十五日、新和少年自然の家で開かれました。約五百人がジャズ演奏を聞きながら、ジンギスカンや九品のイモ料理に舌鼓。熱気球の試乗会は子供たちに大人気でした。



おろちや戦国武者が出現

「咲かせ青春の大きな華を」をテーマに21日から3日間、幕別高校の学校祭が開かれました。21日は各クラスごとに仮装行列。お昼すぎに高校を出発して幕別市街の商店街を通り、町の人達に人気投票をしてもらった結果、3年C組の「天と地と」が優勝しました。



江陵高で行灯行列

江陵高校の学校祭が二十一日、二十二日に開かれました。「無我夢中・今、君達にできることは」をテーマに二十一日は十二基が出場して行灯行列。あかしや町のなかよし公園から駅前を通り、大きな声援と拍手を受けていました。



地域で明きよの草刈り

明きよ排水路をより効率的にするために、自分達の手で管理をしようとして、新川・明野河川愛護組合が十七日、約八十人で、また相川水防組合では二十日、約百人が集まり、一日がかりで明きよ排水路の草刈りや泥を取り除きました。



聞かせてください

あなたの意見

ゴミについて

全校生徒で平和通りのゴミひろい
大人になってもゴミをすてないでほしい

この間の生徒会の役員会で、ボランティア活動の一環でゴミひろいをする事に決まりました。全校のみんなにも話をし、まず自分達の身近かな所からということ、学校の前の平和通りを中心に



してひろうことにしました。先生方にも協力してもらって、七月十六日の午後から一時間ぐらいいました。思ったより空カンは少なかったんですけど、タバコの吸いがらがない分落ちてました。かたまって何本もあったりで、わざとに捨てたみたいなお所もありました。全校生徒でいっしょにゴミひろいをしたのは初めてです。みんなが今日の体験を忘れずに、大人になってもゴミをすてないようになってくれたらなあと思います。幕別中学校生徒会長・石原 俊明

九月、十月号は農業をテーマにします。私達のまち幕別町は、農業を基幹産業として発展してきました。昨年二月の時点で農業に従事した人は二千四百十三人（十年前は二千四百十一人）、戸数は八百五十戸（九百九十戸）、経営耕地面積は約一万五千ヘクタール（約一万四千五百ヘクタール）でした。また昭和六十三年の農業粗生産額は約

9・10月号は農業について

四百二十二億円で、十年前に比べると約三億四千万円も伸びています。その農業が今、農畜産物の輸入自由化問題などで苦しい立場に立たされています。これからの農業はどうなっていくといいんでしょうか。消費者のみなさん、農業者のみなさん、それぞれのご意見を広報広聴係に聞かせてください。

7/1付

人事異動がありました

町職員の人事異動が七月一日付で発令されました。部長職一人の退職により、七人が異動しました。

■幕別町発令 () は前職

課長職

▽総務部税務課長・長尾忠弘(経済部主幹)

課長補佐職

▽札内支所次長兼総務係長・土井昌一(総務部町民課環境衛生係長)

係長職

▽総務部町民課環境衛生係長・木藤保一(総務部民生課社会係係長)

係長職

▽同民生課社会係係長・高嶋克己(建設部都市計画課管理係係長)

係長職

▽建設部都市課管理係・長崎守(総務部税務課納税係)

係長職

▽教育委員会発令

部長職

▽教育部長兼中学校教育課長・宮下徹(幕別豊頃学校給食組合所長)

■幕別豊頃学校給食組合発令

課長職

▽幕別豊頃学校給食組合所長・佐々木定雄(札内支所次長兼総務係長)

退職

▽中村覚(教育委員会教育部長兼学校教育課長)

退職

▽七月一日付の人事異動に合わせ、行政機構図(各課の仕事の内容や相当職員名が書いてあります)を作り、今月の広報の中に折り込みました。用事がある時、また何か聞きたいことがある時など、お気軽にお電話下さい。

納税貯蓄組合で役員改選

会長に 三好 光春 さん

幕別町納税貯蓄組合連合会(百二十九組合加盟)の平成二年度の総会が六月八日に開かれました。総会では前年度の事業報告と決算、二年度の事業計画と予算が承認され、引き続き任期満了に伴う役員

改選が行われました。その結果、新会長には前年度の理事で、昭和六十年五月から寿町三納税貯蓄組合長をされている三好光春さんが選ばれました。



三好光春新会長

そのほかの役員は次のとおりです。() は出身組合名

▽副会長・銚館三雄(中央町二)

石黒若生(中糠内)

▽理事・小尾丁二(錦町二)

高橋幸治(本町二)、窪田信一(旭町一)、笹原良雄(猿別上)、日野治安(大豊二)、竹内邦昭(相川北)、上田宣慶(糠内中央)、能手作治(明倫一)、久保勝弘(古舞西)、横田春市(千住三)、鈴木与四郎(若草町)、細川吉信(あかしや中央)、赤石寅吉(東春日)

▽監事・山内良明(途別一)、長崎重雄(駒島四)、喜多健治(明野三)

▽大須賀史郎(美川) から三万円

▽目黒チエ(南町) から二万円

▽宮田静子(桂町) から十万円

老人クラブへ

▽速水賢一(古舞) から古舞老人クラブへ三万円

▽吉田拓子(帯広市) から糠内老友会へ五万円

「寄付ありがとうございました」

町へ

▽南菅設備(菅野喜一代表・札内中央町) から十万円

▽齊藤竹雄(猿別) から十万円

▽穴吹良行(緑町) から三十万円

社会福祉協議会へ

社会福祉協議会へ